

# 国際サービスシステム メンテナンスニュース

今回は点検やメンテナンスを怠ると事故につながる、ワイヤーロープの話をしてみたいと思います。ワイヤーロープはさまざまな機械に使用され種類も多く今回は主に建設機械に使用されているワイヤーロープについて概要と点検項目・廃棄基準についてお話したいと思います。

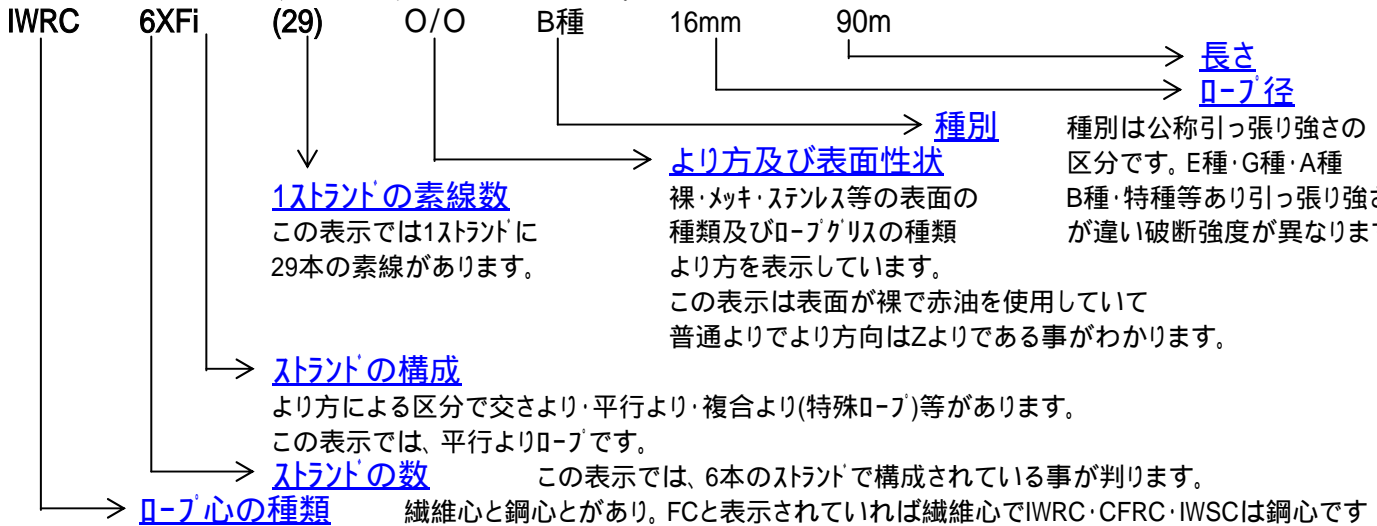
## ワイヤーロープの話

### 各部の名称



### ワイヤーロープの表示と記号

ワイヤーロープの構成は、次のように表示されます。



\* ワイヤロープの交換時は機械の仕様にあったワイヤーロープを選択し、上記に書かれている表示や記号に十分注意してください。(同じように見えるワイヤーでも種類により違い、価格も違う場合があります。)

### 点検項目

事故を未然に防止するためにも日々の点検が非常に重要です。点検項目としては断線・摩耗・腐食・形崩れ・熱影響・塗油状態・端末止め金具及び取付け部・ドラム及びシーブなどを点検してください。

### 廃棄基準

1. 断線	2. キンク	3. 腐食
4. 心綱の飛び出し	5. 摩耗	6. うねり
7. つぶれ	8. 曲がり	9. かがり
10. スtrand・素線の著しい飛び出し	11. スtrandの落込み	

以上のようなワイヤーロープは使用する事なく廃棄してください。

- \* 断線では1ピッチ間に10%・1ストランドに5%・5ピッチ間で20%以上断線しているもの。
- \* 摩耗では公称径の7%以上摩耗しているもの。ノギス等を使用測定してください。
- \* うねりはうねりの高さ/ロープ径が4/3以上のもの。
- \* つぶれは短径/長径が2/3以下のもの。

ワイヤーロープは今回お話できなかった、ロープの解き方・ロープグリスの塗布・シーブ・ドラムの大きさと溝の形状安全率・保管方法等注意事項が多くあります。ご不明な点、わからない事がありましたら国際サービスにご連絡ください!